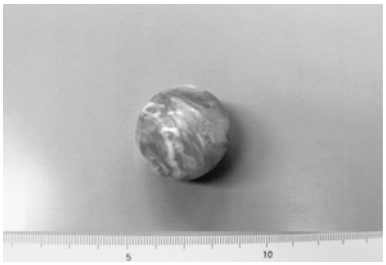
No. 3　スーパーボールによる窒息

事　例		年齢：3 歳　9 か月　　性：男
傷害の種類		喉頭異物による窒息
原因対象物		直径 3.5cm のスーパーボール（製造業者，製造年は不明）（写真参照）
臨床診断名		低酸素性脳症
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人・状況	母親，兄（7 歳），妹（1 歳）
	発生時刻	10 月 29 日 午後 6 時 17 分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	口の中にスーパーボールを 2 つ入れて遊んでいた. たまたま気づいた母親が「危ないのでボールを口から出しなさい」と叱ったところ，驚いて 2 つのうちの 1 つを吸い込み窒息状態となった. 残りの 1 つは口の外へ出した．母親が口の中に指を入れて摘出しようとしたが取り出せず，救急隊を要請した．午後 6 時 54 分（窒息から 37 分後），喉頭にスーパーボールが詰まった状態で当院に搬入された.
治療経過と予後		救命救急センターで喉頭に詰まったスーパーボールをマギール鉗子にて摘出した．その後，挿管，心マッサージを施行したところ，蘇生開始後 20 分で心拍は再開したが，自発呼吸は認めなかった．肺出血を認めたため，サーファクタント洗浄および補充療法を施行した．入院直後の脳波は平坦であり，頭部単純 CT では脳室の構造も失われ，脳全体が low density を呈していた. その後も意識の回復はみられず，自発呼吸が無いため人工呼吸管理を継続したが 6 か月後に死亡した.

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

1. 3 歳児の最大開口口径は 39mm であり，35mm 径のスーパーボールは口腔内に入りうる.
2. この大きさのスーパーボールが 2 つ口腔内に入れば, 奥のほうのスーパーボールは喉頭部に嵌入しやすい状況になる.
3. 外表面がスムースで, ある程度の大きさと弾力を持った物がいったん喉頭部に嵌入すると取り出すことはたいへんむずかしく，このように不幸な状況となる.
4. スーパーボールの大きさを直径 45mm 以上にする，あるいはスーパーボールに通気孔を開けるよう規制する必要がある.